

令和7年度
つくばスマートシティ社会実装
トライアル支援事業
実施要項

つくば市

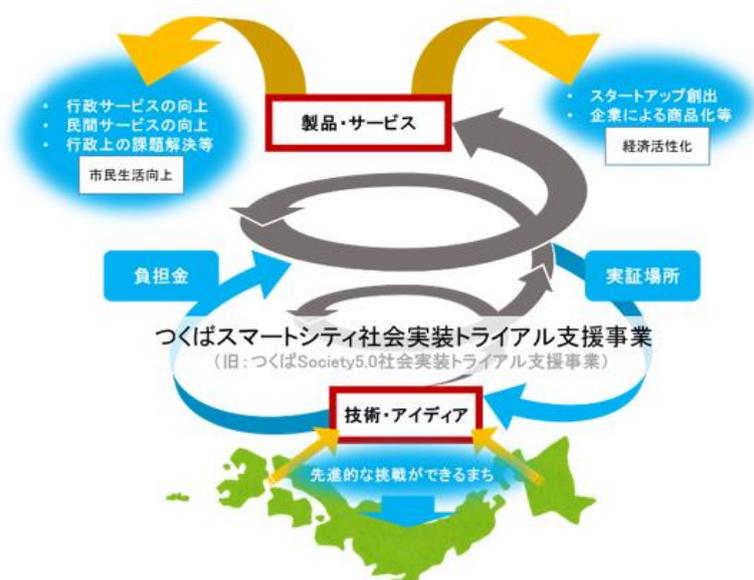
1 事業の目的

本事業は、民間の創意工夫を生かした「Society 5.0」※1の実現に向けた実証実験（以下「トライアル」という。）を公募し、優れたトライアルを支援する事業として、平成29年（2017年）に始まった。

トライアルの核となる革新的な技術やアイデア（以下「先端的技術等」※2という。）の実用化を推進することにより、「Society 5.0」の実現に加え、「スマートシティ」※3、「つくばスーパーサイエンスシティ構想」※4の実現を一層加速することを目指している。

本市の課題解決、ひいては市民生活の向上及び地域経済の活性化、そして先進的な取組に挑戦するまちとしてのプレゼンス確立に資することを目的とする。

- ※1 Society 5.0
サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（出典：[内閣府](#)）
- ※2 先端的技術等
トライアルの先端的技術等については、IoT (Internet of Things)、ビッグデータ解析、人工知能 (AI)、ネットワーク、コンピューティング、ロボティクス、センシング、XR、メタバース、サイバーセキュリティ等に関する技術が想定される。
- ※3 スマートシティ
ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）の高度化により、都市や地域の抱える諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域であり、Society5.0の先行的な実現の場。（出典：[内閣府](#)）
- ※4 つくばスーパーサイエンスシティ構想
住民のつながりを力にして、大胆な規制改革とともに先進的な技術とサービスを社会実装することで、科学的根拠をもって人々に新たな選択肢を示し、多様な幸せをもたらす大学・国権連携型スーパーシティの実現を目指すもの。（出典：[つくば市](#)）



2 企画提案の公募内容

公募の内容は、以下のとおりとする。

(1) 企画提案内容

企画提案の内容は、「スマートシティ」、「つくばスーパーサイエンスシティ構想」の実現を目指し、本市の地域課題解決につながることを想定した先端技術・アイデア等の市内でのトライアルに関するものとする。提案者が、以下に示される7つの分野を踏まえ、先端的技術を用いて、課題解決のための手法を提案する。

提案は、つくば市のデータ連携基盤^{※5}を通じてデータを活用しようとする「**データ連携基盤部門**」とそれ以外の「**一般部門**」で募集する。詳細については、後述の「3 企画提案の選考」を参照のこと。

※5 データ連携基盤

自治体、企業、医療機関など様々な主体から提供されるデータを一元的に収集・整理し、新たなサービスで活用できるよう提供するための基盤。

出典：スーパーシティ・デジタル田園健康特区（内閣府）

<https://www.chisou.go.jp/tiiki/kokusentoc/supercity/opendlabo/supercitycontents.html>

なお、データ連携の基盤環境や連携方法、データの取扱い等の技術的な内容については、事務局までお問合せください。

つくば市の課題

つくば市の課題は「つくばスーパーサイエンスシティ構想」を参照のこと。

●優先的に取り組む7つの分野^{※6}

- ①移動・物流
- ②行政
- ③健康・医療
- ④防災・インフラ・防犯
- ⑤デジタルツイン
- ⑥オープンハブ
- ⑦脱炭素・ゼロエミッション

※6 「つくばスーパーサイエンスシティ構想」で掲げる3つの問題の解決に繋がる優先的に取り組む分野

(2) 企画提案の対象範囲

本市が問題意識として掲げた課題を解決するための技術・製品やサービスの実証実験を募集する。参考として、以下にトライアルのイメージを示すが、あくまで企画提案のイメージを掴むための一例であり、対象範囲を限定するものではなく、提案については幅広に受け付ける。

ア 先端的技術等

トライアルの先端的技術等については、IoT (Internet of Things)、ビッグデータ解析、人工知能 (AI)、ネットワーク、コンピューティング、ロボティクス、センシング、XR、メタバース、サイバーセキュリティ等に関する技術が想定される。

イ 対象施設・モニター

トライアルの実施対象施設は、つくば市内の公園や学校、公道などの公共施設及び商業施設、病院、市役所などが想定される。

また、トライアルに必要なモニターは、つくば市があっせんすることが想定される。

ウ トライアル内容

先端的技術等を活用し、市民の健康・介護・福祉などのサービス維持や向上、移動・買い物・食事などの生活スタイルの維持・確保、新しい働き方のための教育サービスや安全・柔軟なワークスタイルの実現、産業・観光・農業の新たな発想による経済活性化など、民間・行政サービスの向上による市民生活の向上・地域活性化を目指すものとする。例えば、人工知能技術を基盤とし、障害×IoT、移動×ロボティクス、動作×センシング、職業訓練×XR、教育×メタバース、情報発信×サイバーセキュリティなど、社会実装を念頭に置きつつ、本市の課題解決につながり、また様々な分野の利便性や魅力の向上につながる様々な商品やサービス等の有効性の立証、データ収集等のための実証実験が想定される。

(3) 応募資格

応募をすることができる者は、以下のとおりとする。ただし、大学、企業及び研究機関にあっては、責任者と構成員が明確にされている場合は、部署、研究室等の単位でも応募することができるものとする。

ア 中学校、義務教育学校（前期課程を除く。）、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校

なお、応募前に必ず所属の教員に提案内容を伝え、学校として応募すること。

イ 企業（個人事業主を含む。）及び研究機関

なお、代表者、役員又は従業員若しくは構成員が、暴力団員又は暴力団関係者である場合及び風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号）第2条第1項に規定する風俗営業、同条第5項に規定する性風俗関連特殊営業、同条第11項に規定する接客業務受託営業及びこれらに類する事業を行っている場合は、応募することができないものとする。また、これらが採択後に判明した場合は、直ちに採択を取り消し、支出した実証支援負担金（6-（1）-ア④の規定に基づき市が負担する費用をいう。）の全額を市に返還させるものとする。

ウ 市のスタートアップの定義^{*7}に該当し、つくば市スタートアップ登録制度に登録している市内企業または創業や移転により協定締結日までに市内に事業所を開設し、法人登記を完了させ、市内でスタートアップの事業を開始予定であり、つくば市スタートアップ登録制度に登録予定の者。

※7 市スタートアップの定義：（全てに該当すること）

- ・ ユニークなテクノロジーや製品・サービス、ビジネスモデルを持ち、事業成長のための投資を行い、事業成長拡大に取り組んでいる。
- ・ これまでの世界を覆し、新たな世界への変革にチャレンジしている。
- ・ 事業分野がライフサイエンス、ロボット、エネルギー、ナノテクノロジー、物質・材料、情報サービス、環境及び宇宙分野のいずれかに該当する。
- ・ 設立から10年未満である。
- ・ 日本国内の非上場会社である。

エ 当該企画提案やそれに係る先端的技術等の全部又は一部について、国の補助金等を受けている又は受けることが確定している場合は応募をすることができない。なお、応募時点で該当しない場合でも、申請中の場合は、または応募以降に申請をした場合は、必ず市に伝えるものとする。（6-（1）-アを参照のこと）

オ （データ連携基盤部門のみ）データ連携基盤の使用にあたり、つくばスマートシティ協議会が定める利用規約等に遵守し、利用に必要な手続きに速やかに応じるものとする。

(4) スタートアップ賞

2 - (3) -ウの要件を満たす者からの一般部門への提案のうち、最終審査において総得点が一番高い者かつ最終審査で授与が妥当と判断されたものについて、スタートアップ賞を授与する。

(5) 応募方法

企画提案の応募方法は、以下のとおりとする。

ア 応募期間

令和6年(2024年)12月2日(月曜日)から

令和7年(2025年)1月31日(金曜日)17時00分(必着)

イ 応募方法

(ア) 提出するもの

- ・企画提案書(様式第1号)
- ・企画提案サマリー(様式1号-2)

各様式は、市のホームページからダウンロードして入手するものとする。

(イ) 提出先

専用サイトの応募フォーム

(ウ) 留意事項

- ・企画提案書は **20 ページ以内** にすること。
- ・応募に要する費用は、全て企画提案を行う者(以下「提案者」という。)の負担とする。
- ・一次審査の通過者は、「3(2)最終審査」に掲げるプレゼンテーション動画等の追加の資料作成が必要となる。「9 スケジュール」に示すとおり、一次審査の結果通知から最終審査までの期間が一次審査と比較して短期になることから、注意されたい。

3 企画提案の選考

「4 審査委員会の設置」に規定する審査委員会において、部門ごとに以下の方法により一次審査及び最終審査を行うものとする。採択者の提案内容は、原則公開とする。

なお、応募者が1者のみであった場合にも、一次審査及び最終審査を行うものとする。

(1) 一次審査

一次審査は、以下に掲げる各審査項目の評価ポイントに基づき、審査委員が提案者の応募書類を採点して行うものとする。

審査委員は、チームコミュニケーションツール Slack（予定）を通じて、本ツール上での情報のやり取りについて同意を取得した各応募者に対し、応募内容に関する質問をし、回答を採点に反映させるものとする。

審査委員会の事務局（以下「事務局」という。）は、全委員の平均点を算出し、審査委員会の議論を経て、一般部門から上位10件、データ連携基盤部門から上位5件までを目安に企画提案を最終審査に回付するものとする。

ア 審査項目

(ア) 一般部門

i) 新規性・先駆性 (30点)

評価ポイント：他自治体でも実証等を一度も行ったことがない新規性及び社会的、経済的なインパクトや先駆性があるか。ただし、国や他の機関の補助制度等の採択を受け、又は公の場で提案中または発表しているなどの事由は新規性及び先駆性を審査する上で考慮しないものとする。

ii) 市場・事業化可能性 (30点)

評価ポイント：利用者ニーズ・社会的需要を事前に調査しているか。国内外へのビジネス展開が期待できそうか。

iii) 社会実装可能性 (20点)

評価ポイント：十分な安全対策が講じられ、内容が具体的かつ社会実装を見据えた（研究アイデア段階のものは将来的に）実現可能なものであるか。

iv) 地域課題解決効果 (10点)

評価ポイント：つくばスーパーサイエンスシティ構想を参考に、

①移動・物流、②行政、③医療・健康、④防災・インフラ・防犯、⑤デジタルツイン、⑥オープンハブ、⑦脱炭素・ゼロエミッションの7分野において、先端技術等を用いて、つくば市の課題解決に貢献することが期待されるものか。

v) スーパーシティ事業への発展可能性 (10点)

評価ポイント：社会実装に向け、現行法に対する規制改革提案につながる可能性があるか。

(イ) データ連携基盤部門

i) 実現性 (30点)

評価ポイント：全体スケジュールを鑑み、十分な実現可能な提案であるか、データの取得・加工・分析までの必要なリソースが確保できているか。実施にあたって関連する法令等を認識しているか。

ii) 具体性 (30点)

評価ポイント：構築するサービスが具体的になっているか、データ連携基盤の活用方法が具体的に示されているか、利用するデータが整理されているか。

iii) 有用性 (20点)

評価ポイント：内容が市民ニーズを捉え、①移動・物流、②行政、③医療・健康、④防災・インフラ・防犯、⑤デジタルツイン、⑥オープンハブ、⑦脱炭素・ゼロエミッションの7分野のデータから2種類以上を連携し、つくば市の課題解決に貢献することが期待されるものか。単一分野のデータ活用も可とするが、複数の分野のデータを連携するものを高く評価する。

iv) 安全性 (10点)

評価ポイント：利用するデータ、加工されたデータ等に対し、想定されるリスクを検討し、その十分な安全対策を講じているか。

v) その他 (加点要素) (10点)

評価ポイント：上記 i) から vi) の観点について高い価値が認められるものは、合計10点を上限として加点する。

(2) 最終審査

最終審査は、事前審査と当日審査により行う。

一次審査の通過者は、一次審査の審査委員からのコメントを踏まえ、以下の資料を一次審査の結果及び最終審査の実施の通知（様式第2号-1）に記載の期日までに指定のオンラインストレージに提出する。

- ・最終審査出席者報告書（様式第3号）
- ・提案概要書（様式第4号）
- ・プレゼンテーション動画（5分以内）

審査委員は、最終審査会までに、企画提案書（様式第1号）、提案概要書（様式第4号）及びプレゼンテーション動画を確認する。これを事前審査とする。

当日審査は、提案者による1分間のプレゼンテーション及び質疑応答を行う。審査委員は、事前審査・当日審査を以下に掲げる各審査項目を踏まえ、データ連携基盤部門は最大上位2件を、一般部門は最大上位3件を選考することができるものとする（各1ポイント）。

さらに、スタートアップ賞対象の企画提案については、以下のスタートアップ賞選考のための審査項目に掲げる各審査項目を踏まえ、全委員は、一般部門の提案から最大1件を選考することができるものとする（1ポイント）。

事務局は、一般部門、スタートアップ賞、データ連携基盤部門のそれぞれについて全委員の合計ポイントを算出し、順位表を作成する。

審査委員会は、各順位表等を参考として議論を実施し、採択をする提案を市長に報告するものとする。

ア 審査項目

（ア）一般部門の審査項目

一次審査の審査項目に同じ

（イ）スタートアップ賞の審査項目

i) 新規性・成長性

評価ポイント：新しいビジネスモデルや目指すマーケットにより、自社の事業を成長させていくことが見込まれるか。

ii) 技術優位性

評価ポイント：先端的技術等に競争優位性や高い独自性があるか。

（ウ）データ連携基盤部門の審査項目

i) 社会課題寄与性

評価ポイント：データ連携基盤の活用により、データを掛け合わせてつくば市の社会的課題解決に寄与するか。

ii) 横展開可能性

評価ポイント：つくば市だけの活用ではなく、他市とも連携できるようなシステム構築しているか。

4 審査委員会の設置

企画提案を審査するため、「令和7年度つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業 審査委員会」(以下「審査委員会」という。)を設置するものとする。審査委員会の委員及び審査会は、「令和7年度つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業 審査委員会設置要項」に定めるものとする。

5 採択・不採択の決定

市長は、最終審査結果の報告等を参考に採択をするものとする。
市長は、選考の結果を、提案者に対し、書面（様式第5号-1または様式第5号-2）で通知するものとする。
なお、審査の内容及び選考の理由に関する質問、不服申立ては受け付けないものとする。

6 トライアルの実施

(1) 支援の内容

市は、企画提案の中から「3 企画提案の選考」に定める方法により、優れていると認めたものを採択し、支援するものとする。なお、当該採択を受けた者(以下「採択者」という。)に対する支援は、以下のとおりとする。また、スタートアップ賞を授与された者は、つくば市スタートアップ推進室が伴走支援を行う。

ア ①トライアルの実施に必要となる以下に掲げる経費の支援。ただし、「6(4) 協定書の締結」に定める協定書の締結日から「6(6) トライアルの終了」に定める日までの期間に支払いを完了しているもので、実証実験に使用したものを対象とする。1件につき総額100万円を上限とする。なお、採択後に、国の補助金等を受けることが確定した場合、本支援は対象外となる。

事業設備・備品経費 (レンタルのみ可)

試作・実証経費

(実証期間内に実装を伴うものに限る)
広報・PR 経費、プロモーション経費 (販売促進イベント、展示会等)
市場調査経費 (テストマーケティング等)
その他 (トライアルの内容に応じて市長が必要と認める経費)

- ② 以下の経費は、支援の対象外とする。
- ・特定の個人や個別企業に対する給付経費及びそれに類するもの
(例) ー旅費、宿泊費、体験費、交流費、飲食費、販促品提供費
ー健康診断等の医療費等の補助
ー住宅・土地等の取得費補助
ーインターンシップや研修などの受け入れに関する経費
ー金券・クーポン券等の発行費
ー販促物（ノベルティ）の製作に係る経費
 - ・施設や設備の整備、備品購入自体を主目的とするもの
 - ・国の補助金等を受けている又は受けることが確定している経費
 - ・用地取得（区分所有権の取得を含む）や造成に要する経費
 - ・その他これらに類するもの
- ③（データ連携基盤部門のみ）データ連携基盤の活用にあつては要する経費の支援。ただし、「6（4）協定書の締結」に定める協定書の締結日から「6（6）トライアルの終了」に定める日までの期間に支払いを完了しているもので、実証実験に使用したものを対象とする。1件につき100万円を上限とし、①に追加して支援する。なお、採択後に、国の補助金等を受けることが確定した場合、本支援は対象外となる。
- イ 採択者が、トライアルについて専門家から助言を受けられるよう支援を行う。なお、これに係る費用は、別で定めるところにより、市が負担する。また、専門家からの助言は、実験実施前（計画段階）・実験中・実験実施後（報告）の合計3回を予定している。なお、専門家は、採択後、採択者と協議の上決定するものとする。
- ウ 施設等の確保、モニターのあつせん等（市内の公園、学校、公道などの公共施設の提供、国定公園、河川、農地等の調整、モニター募集、地元調整等）
- エ 国等に対する規制・制度改革の提案（国際戦略総合特区の活用、国家戦略特区の提案を想定）

- オ 大学・研究機関等への技術相談のあっせん（つくばグローバル・イノベーション推進機構のつくばテクニカル・コンシェルジュ事業と連携を想定）
- カ 市のイベント等における PR の場の提供
- キ つくば市産業振興センターのコワーキングスペース（時間又は日を単位とするもの）及び会議室の無償利用
- ク その他市長が必要と認めるもの

(2) トライアルの対象外

トライアルの実施（準備を含む。）が令和8年(2026年)3月13日までに終了しないもの、トライアルの場所に本市内を含まないもの、大掛かりな設備やハード整備を要するもの、法律の改正や規制緩和が必要となるもの、国の補助金等を受けている又は受けることが確定しているものについては本事業の対象外とする。

【参考】 トライアルの例

参考として、以下にこれまで実施したトライアルを掲載した HP の QR コード及び URL を記載する。



<https://www.city.tsukuba.lg.jp/shisei/torikumi/kagaku/19483.html>

(3) トライアルの内容の調整等

採択者は、トライアルの実施に当たって、事前に、法律等の専門家等からトライアルの実施に対する法律面、安全面、倫理面等について意見聴取を行った上で、市、トライアル施設等の管理者、モニターその他の当該トライアルの関係者間において、トライアルの計画を調整するものとする。なお、採択者は、法律・倫理指針等を遵守することとし、本市が遵守状況を調査することや倫理審査等の実施を依頼する場合は、必ず応じること。なお、本市が、法律面、安全面、倫理面等における妥当性が確認されない、もしくは新興感染症等の感染状況を踏まえた公衆衛生上の問題、緊急事態宣言等の社会的制約を受けると判断した場合、又はその他災害等が発生し

た場合は、トライアルの実施を見送ることがある。

採択後に、関係する団体等と実証実験の調整が整わない場合や検証を可能とする期間に実証実験が開始されない場合、スケジュールの大幅な遅延等が生じた場合も同様とする。

(4) 協定書の締結

協定書には、以下の資料を添付するものとする。

- ・概要説明書（様式第6号）
- ・実施計画書（様式第7号）
- ・支出予算内訳書（様式第8号）
- ・誓約書（様式第9号）

なお、審査委員会や法律等の専門家等、住民等、トライアル施設等の管理者、モニター、その他の当該トライアルの関係者の意見に基づき、トライアルの実施方法等について条件を付す場合がある。

市の過失であることが明らかなもの以外のトライアルに起因する事故については、採択者がすべての責任を負い、誠意を持って対応するものとし、市は一切の責任を負わないものとする。

また、採択者は、トライアルの期間中に、専門家による助言を受けることができる。

(5) トライアルにあたっての留意事項

トライアルは、原則として公表するものとし、採択後、市公式ホームページ内において以下を同意するものとする。

- ・採択後の提案事業者のロゴマーク使用
- ・最終審査での1分間のプレゼンテーション動画の掲載

ただし、公表することが個人情報情報の漏えい、特許出願を予定している発明の新規性の喪失その他の不利益につながる恐れがある場合は、この限りでない。

なお、採択者は、トライアルの実施前に、トライアル施設等の管理者及びモニターに対し、トライアルの内容、想定されるリスク、安全対策、事故が起きた場合の補償等について書面で説明し、同意書を徴しておくものとする。

市は、採択者に対し、トライアルの現場において必要な指示を行うものとする。なお、トライアルを行うことにより、他人に危害を及ぼし、若しくは損害を与える恐れがあると認める場合又はトライアル施設等の管理者若しくはモニターから要請があった場合は、当該トライアルを中止させることができるものとする。なお、中止により生じた損失は、採択者の負担

とする。

ただし、新興感染症等の感染状況を踏まえた公衆衛生上の問題や緊急事態宣言等の社会的制約を受ける等の事情、その他災害・感染症等の発生等によりトライアルを中断せざるを得ない場合において、市は、翌年度の実施を含め、検討するものとする。

データ連携基盤の採択者は、データ連携基盤の使用にあたり、つくばスマートシティ協議会が定める利用規約等に遵守し、利用に必要な手続きに速やかに応じるものとする。

(6) トライアルの終了

採択者は、計画したトライアルがすべて終了した場合は、終了した日から30日以内又は令和8年（2026年）3月13日のいずれか早い日までに令和7年度つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業の実績報告を行うものとする。なお、報告書の様式は、採択後に締結する協定書の様式を使用し、併せて必要書類も提出するものとする。

7 成果報告

採択者は、市長が指定する方法でトライアルの成果等の報告を行うものとする。

8 フォローアップ

トライアル終了後は、市は「つくば市市場・市民ニーズ調査事業」や「つくば市未来共創プロジェクト」を通じて社会実装に向けて継続的な支援を検討するものとする。

9 スケジュール

本事業のスケジュールは、以下の表のとおりとする。

手順		時期（予定）
1	本事業の公表（市ホームページ等）	令和6年12月2日
2	企画提案の公募	令和6年12月2日～ 令和7年1月31日
3	企画提案の選考	
	一次審査（質問期間）	令和7年2月5日～ 令和7年2月中旬
	一次審査（書類審査）	令和7年2月下旬
	一次審査 結果通知	令和7年2月下旬
	最終審査関係書類・ プレゼンテーション動画提出	令和7年3月上旬
	最終審査（プレゼンテーション審査）	令和7年3月中旬
	最終審査 結果通知	令和7年3月下旬
4	企画提案の採択関係書類提出	令和7年3月下旬
5	トライアルに係る調整、支援等	令和7年4月上旬～
6	トライアルの実施	令和7年5月上旬～ 令和8年3月13日
7	実績報告、経費精算報告	～令和8年3月13日
8	成果報告	令和8年3月11日（予定）

附 則

この要項は、決裁の日を以て施行する。

1. 実現しようとする未来社会と先端的技術等

- ・本トライアルでどのような技術・サービスを活用し、どのような未来社会の実現に貢献するか、記載してください。
- ・市内への効果、インパクトに加えて、国の成長や世界的課題解決など、社会的、経済的にどれくらい大きな効果が期待できるか記載してください。

(一般部門・データ連携基盤部門 共通)

2. 新規性・先駆性

- ・トライアルを通じて将来的に社会実装が想定される製品・サービス等が、現存する類似のものと比較し、技術的・アイデア的にどのように新規性・先駆性があるか記載してください。

(一般部門のみ)

※データ連携基盤部門は任意

3. 市場・事業化可能性とロードマップ

- ・利用者ニーズ・社会的需要の調査結果を示してください。
- ・市場・事業化までのロードマップと、トライアルの全体のスケジュールを表で示した上で、今回のトライアルでは、ロードマップのどの時点を対象とするのかを明確にしてください。
- ・国内外へのビジネスの可能性等をイメージし、明記してください。

(一般部門のみ)

※データ連携基盤部門は任意

4. つくば市で行いたいトライアルの詳細

- ・どのようなトライアルを行うのか、計画を記載してください。
- ・トライアルを実施したい場所、必要なモニター、実施期間・回数、実施体制(組織、スタッフ、役割分担)費用等を具体的に記載してください。

(一般部門のみ)

4-1. つくば市で行いたいトライアルの詳細

※「データ連携基盤」については、実施要項p.2 参照

- データ連携基盤を活用し、どのようなトライアルを行うのか記載してください。
- トライアルを実施したい場所、必要なモニター、実施期間・回数、実施体制(組織、スタッフ、役割分担)費用等を具体的に記載してください。

(データ連携基盤部門のみ)

4-2. データ連携の実現可能性とスケジュール

- トライアルの実現までに必要な開発や関係者調整等のスケジュールを示してください。特に、提案者が保有していないデータを活用する場合は、当該データの提供者との調整状況や見通しについて記載してください。
- 市場・事業化までのロードマップを示し、今回のトライアルは、ロードマップのどの時点を対象とするのかを明確にしてください。
特に、段階的に社会実装を目指す場合は、社会実装までのステップを明示してください。
- データを連携させる上での懸念点・留意事項がある場合は、記載してください。
- どのように製品・サービスをつくば市でビジネスとして自走させるかをロードマップに記載してください。・国内外や他分野への横展開などの計画を記載してください。

(データ連携基盤部門のみ)

4-3. データ連携の具体的な設計と調整状況

- ・データ連携基盤を活用することにより、トライアルを行う製品・サービス等が、技術的・アイデア的に現存する類似の製品・サービスと比較し、どのような点で新規性・先駆性があるのか記載してください。
- ・以下の項目をすべて網羅し、データ連携の具体的な設計と調整状況について記載してください。

1. 連携予定のデータ保有者

2. 連携方法(データ連携基盤への接続元、参照・取得の別など)

3. 連携するデータ項目

※つくば市のデータ(オープンデータ、研究機関、民間事業者等が保有するデータ)の活用を検討すること。

※単一分野のデータ活用も可とするが、複数の分野のデータを連携するものを高く評価する。

4. 3. のデータの整理(取得・加工・分析等の工程)

5. サービスに関する関連法令・規約・ガイドライン

- ・提案・実施にあたっての留意事項

本市のデータ連携基盤では、個人情報に伴うパーソナルデータを取り扱わないこと。

※但し、個人情報をマスキング(例えば属性(氏名→男性、20代など)に置き換えし、流通させることは可能。

(データ連携基盤部門のみ)

4-4. 製品・サービスの市場性・有用性

- ・利用者ニーズ・社会的需要の調査結果を示してください。
また、以下の項目を踏まえ、データ連携基盤を活用することで新たに生み出される価値について、記載してください。

1. 製品・サービスの活用により創出されるデータの活用方法

2. PHR またはデータ利活用の可能性

3. データを掛け合わせることによるつくば市の社会課題解決の寄与度

※単一分野のデータ活用も可とするが、複数分野のデータを連携するものを高く評価する。

4. 地域・分野等横展開の可能性

(データ連携基盤部門のみ)

4-5. データ連携基盤を活用する上での安全対策

- ・データ連携基盤の活用利用する上で想定されるリスクについて、4-3.に記載の設計のどの部分で生じることが想定されるのかを明らかにし、記載してください。
- ・想定したリスクに対し講ずるべき安全対策等について記載してください。

(データ連携基盤部門のみ)

5. 社会実装可能性・地域課題解決効果

- ・どのように製品・サービスをつくば市でビジネスとして自走させるか記載してください。
- ・既存データの活用だけでなく、提供した製品・サービスからデータの還流や再利用の見通しを記載してください。
- ・社会実装上で想定される課題に対し、どのような対処をしていくか記載してください。
- ・製品・サービスが社会実装されることで、つくば市の課題がどのように解決されるか記載してください。
特に、複数分野にわたって効果が期待される場合は、期待される効果を具体的に記載してください。

(一般部門のみ)

※データ連携基盤部門は任意

6. トライアルの成果目標と今後の展開

- ・トライアルの実施により、どのような成果を目標とするのか、また、次のステップとして今後5年間の大まかな展開(資金調達、製品・サービス等の販路拡大・販売見込等)についてどのように考えているか。
「3 市場・事業化の可能性とロードマップ」との整合を踏まえて記載してください。
- ・現行法が改正されることにより、製品・サービス等がより効果的に発揮される可能性がある場合、規制緩和・改正を要望したい法規制と要望内容を記載してください。

(一般部門・データ連携基盤部門 共通)

7. 想定されるリスクと安全対策

- ・個人情報の取り扱いの有無 あり なし
- ・外部システムとのネットワーク接続 あり なし
- ・トライアルの実施において、想定されるリスクと安全対策について具体的に記載ください。特に、上記チェックボックスで「あり」にチェックを入れた場合は、情報リスクに対する安全対策について必ず記載してください。
- ・(データ連携基盤部門の提案者のみ)データ連携基盤に係るリスク以外で、製品・サービスのトライアルを実施するにあたり想定されるリスクを中心に記載してください。

(一般部門・データ連携基盤部門 共通)

8. 市に求める支援等

- ・モニターの募集周知を期待する場合は、モニター要件や規模について記載してください。
- ・トライアルの場所の提供や調整協力を期待する場合は、具体的な施設や必要な備品等について記載してください。
- ・その他トライアルの実施にあたり市に支援を期待することがありましたら御記載ください。

(一般部門・データ連携基盤部門 共通)

様式第2号-1

第 号
年 (年) 年 日

(提案者所属名)
(提案者名) 様

つくば市長

令和7年度つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業
一次審査の結果及び最終審査の実施について (通知)

厳正なる審査の結果、貴殿の企画提案「(提案名)」が一次審査を通過しましたので
通知します。

また、下記の通り最終審査 (プレゼン審査) を実施します。

最終審査に向けて事前に御準備いただきたい事項がありますので、下記及び別紙を
御参照のうえ、御対応ください。

記

1 最終審査について

(1) 日 時 : 令和 年 (年) 月 日 (曜日) 時~ 時 (予定)

(2) 場 所 :

(3) 審査内容:

[事前審査] 企画提案書、提案概要書、プレゼンテーション動画 (5分)

[当日審査] プレゼンテーション (1分)、質疑応答8分程度 (予定)

2 最終審査に向けた準備事項について

(1) 資料の作成

「実施要項3 (2) 最終審査」に基づき、以下の資料を作成願います。

・プレゼンテーション動画 (5分以内)

※1 プレゼンテーション動画は、一次審査委員からのコメントを踏まえた
上で御作成ください。

※2 動画は、審査のためYouTubeで限定公開します。

・最終審査出席者報告書 (様式第3号)

・提案概要書 (様式第4号)

(2) 一次審査委員からのコメント

--

(3) 提出先

以下の専用 URL から指定の URL にアップロードしてください。

[専用 URL]	(QR コード)

※1 専用 URL は、提案者ごとに設定しています。

※2 専用 URL を知っている者のみ、編集や閲覧が可能な設定です。

(3) 提出期限

令和 年 () 月 日 (曜日) 時 分 (厳守)

3 最終審査会の接続先

4 別添資料

- ・実施要項
- ・最終審査出席者報告書 (様式第 3 号)
- ・提案概要書 (様式第 4 号)

5 備考

- ・最終審査会当日のプログラムは、決まり次第、改めて御連絡いたします。
- ・最終審査会の概要及び準備事項の詳細は、「実施要項 3 (2) 最終審査」を御参照ください。

様式第2号-2

第 号
年 (年) 年 日

(提案者所属名)

(提案者名) 様

つくば市長

令和7年度つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業
一次審査の結果について (通知)

厳正なる審査の結果、貴殿の企画提案「(提案名)」について、誠に残念ではございますが、今回は御希望に添いかねる結果となりましたことをお伝えいたします。大変恐縮ですが、何とぞ御了承くださいますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、御応募いただきましたことに御礼申し上げますとともに、貴殿のより一層の御活躍をお祈り申し上げます。

一次審査委員からのコメント

--

様式第3号

令和7年度 つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業

最終審査出席者報告書

(ふりがな)		
組織名称		
提案名	※企画提案書に記載した名称を記載してください。	
(ふりがな)		
提案代表者名 役職 氏名		
(ふりがな)		
プレゼン・質疑応答 対応者名 役職 氏名	※プレゼンテーション・質疑応答対応者は1名です。	
当日の緊急連絡先	氏名	
	電話番号	
	メールアドレス	
	※当日オンライン接続ができない時などの連絡先です。 必ず繋がる連絡先を記載してください。	

様式第4号

令和7年度 つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業

提案概要書

※この欄には記入しないでください。	提案名 組織名	提案内容の詳細はこちらから↓ 後日、動画QRコードを掲載します。
提案の背景		
1ページにまとめてください		
トライアル概要		
※トライアルで何を検証したいのかを必ず記載すること		
期待される効果・実現しようとする未来社会		
令和7年度つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業		

様式第5号-1

第 号
年 (年) 年 日

(提案者所属名)

(提案者名) 様

つくば市長

令和7年度つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業
最終審査の審査結果について (通知)

厳正なる審査の結果、貴殿の企画提案「(提案名)」を採択いたしました。今後の事業の進め方については、別途御連絡させていただきます。
なお、最終審査委員からコメントを頂いておりますので、今後の取組みの参考としていただけますと幸いです。

審査委員からのコメント

様式第5号-2

第 号
年 (年) 年 日

(提案者所属名)
(提案者名) 様

つくば市長

令和7年度つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業
最終審査の審査結果について (通知)

厳正なる審査の結果、誠に残念ながら貴殿の企画提案「(提案名)」の採択を見送らせていただくこととなりました。御希望に添えず恐縮ですが、何とぞ御了承くださいますようお願い申し上げます。

なお、最終審査委員からコメントを頂いておりますので、今後の取組みの参考としていただけますと幸いです。

審査委員からのコメント

様式第6号

令和7年度 つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業
概要説明書

組織名称			
代表者			
所在地	〒		
責任者 ※代表者以外でも 構いません。	職 氏名 連絡先		
主担当者	職 氏名 連絡先		
チーム名簿	職氏名	役割	備考

備考：定款、規約、会則等（個人事業主の場合は、開業届）の応募資格及び主たる活動目的を証明する書類を添付してください。

様式第7号

令和7年度 つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業
実施計画書

1. トライアル計画

①提案名称	
②トライアルの実施内容	
③実施施設等 (種類、時、物、人、環境等)	1. 実施施設等 2. 機器の設置 3. 電気、水道、ガス等の使用
④モニター	
1. 人数	
2. 条件	
⑤トライアルの期間・回数	年 月 日～ 年 月 日
⑥倫理審査の必要性	有 ・ 無 理由 ()

2. 安全対策

①リスクアセスメント	
②安全対策	

様式第8号

令和7年度 つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業
支出予算内訳書

(単位：円)

項目	支出金額	積算根拠	負担金充当額
合計			

備考

1. 上記の表には、トライアルに係る費用の全額を記載してください。
2. 項目欄には、トライアルに係る以下の経費を記載してください。
その他の費用については、ある程度内容が分かるように項目立てをして記載してください。

参考：令和7年度つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業
実施要項 6 (1) ア①

事業設備・備品経費 (レンタルのみ可)
試作・実証経費 (実証期間内に実装を伴うものに限る)
広報・PR 経費、プロモーション経費 (販売促進イベント、展示会等)
市場調査経費 (テストマーケティング等)
その他 (トライアルの内容に応じて市長が必要と認める経費)

3. 市の負担金（総額100万円を上限）を使用しない項目も記載してください。
4. 行が足りない場合は、適宜追加してください。

様式第9号

令和7年度つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業
誓約書

つくば市長 宛

代表者、役員又は従業員若しくは構成員について、つくば市暴力団排除条例第2条第2号に規定する暴力団員又は同条第3号に規定する暴力団員等に該当しないことを誓約します。また、この誓約に違反又は相違があり、令和7年度つくばスマートシティ社会実装トライアル支援事業実施要項の規定により支払われた実証支援負担金の返還を命じられたときは、これに異議なく応じることを誓約いたします。

あわせて、市長が必要と認めた場合には、暴力団員若しくは暴力団員又は暴力団関係者であるか否かの確認のため、茨城県警へ照会がなされることに同意いたします。なお、「暴力団関係者」とは、以下の者をいいます。

- ・暴力団又は暴力団員が実質的に経営を支配する法人等に所属する者
- ・暴力団員を雇用している者
- ・暴力団又は暴力団員を不当に利用していると認められる者
- ・暴力団の維持、運営に協力し、又は関与していると認められる者
- ・暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められる者

また、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律(昭和23年法律第122号)第2条第1項に規定する風俗営業、同条第5項に規定する性風俗関連特殊営業、同条第11項に規定する接客業務受託営業及びこれらに類する事業を行っていないことを誓約します。

さらに、国や県の補助金等を受けていない又は受けることが確定していないことを誓います。なお、今後、これらの該当が明らかになった場合は、直ちに市に申し出ることを誓います。

令和 年 月 日

所在地
名称
代表者

(※本人自署の場合は押印不要)